

「平成 27 年度普及に移す成果」

粘質で甘みが強いカンショ「べにはるか」の奨励品種（干しいも用途）採用

みんなで進めよう
茨城農業改革

農業総合センター農業研究所

カンショ「べにはるか」は「タムユタカ」と比べ収量は劣るものの、干しいもに加工すると、外観が黄色で優れ、食感はやわらかく、甘味が強く総合評価が優れることから、干しいも用奨励品種に採用しました。現在普及が進んでおり、干しいもの品質向上に寄与しています。

形状が優れ、シロタが発生しにくい

「べにはるか」は、(独)農研機構九州沖縄農業研究センターにおいて「九州 121 号」を母、「春こがね」を父とする交配組合せから育成され、平成 22 年に品種登録されました。

干しいも用慣行品種「タムユタカ」と比較すると、収量は劣りますが、いもは曲り・くびれが少なく形状に優れます。また、いも数がつきやすい傾向があります。また、シロタ（中白障害）と呼ばれる不良品が発生しにくい特徴があります。

表 1 生育・収量及び干しいもの品質

試験場所	品種名	つる重 (kg/a)	上いも重 (kg/a)	上いも重対標準比 (%)	株当たり上いも個数	上いも1個重 (g)	シロタの発生程度
所内	べにはるか	385	265	83	4.4	155	無
	標)タムユタカ	356	320	100	3.9	205	微
現地	べにはるか	530	298	84	4.1	203	無
	標)タムユタカ	288	356	100	2.8	356	無

注)耕種概要 1) 施肥量(kg/a): 所内 N-P₂O₅-K₂O=0.1-1.2-1.0、現地 N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.5-0.5
 2) 畦間×株間(cm): 所内 100×25、現地 111×25、ともに無マルチ栽培
 3) 挿苗:5月下旬、収穫:10月上旬
 数字は、所内が平成15~16、26年の3年間のデータの平均値、現地が平成26年のデータ
 上いもは50g以上のいも
 シロタの発生程度:無~甚の6段階評価

やわらかさと強い甘味を持ち、外観も優れる

「タムユタカ」と比較すると、干しいもは外観が黄色で食感はやわらかく、強い甘味を示し、総合評価に優れます。

表 2 干しいも食味試験結果

品種名	試験日	外観	やわらかさ	甘味	総合評価
べにはるか	H27/1/8	+2.10	+2.05	+1.75	+1.80
	H27/1/15	+1.10	+0.90	+1.05	+0.95

パネリスト各20名、供試したサンプルは試験日で異なる
 タムユタカを基準(0)として以下の11段階で評価
 外観、総合評価:悪い-5~良い+5
 やわらかさ:かたい-5~やわらかい+5、甘味:弱い-5~強い+5



図 べにはるかの干しいも

活用上の留意点

- 1) 種苗は、育成元と種苗の生産・販売等に関する許諾契約を締結している種苗会社等より購入しましょう。(参考URL: http://www.naro.affrc.go.jp/karc/contents/files/seed_karc.pdf)
- 2) いもの形状が長紡錘形で「タムユタカ」よりも長いため、収穫の際はいもを切断しないように注意しましょう。

< 問い合わせ先: 農業研究所作物研究室 Tel 029(239)7212 >